

# 書 燈



写真左：新垂水図書館屋上ひろば 写真右：新垂水図書館外観  
写真撮影：小川重雄

## 新垂水図書館の開館に寄せて

三重野 雅文

2025年9月30日、雲ひとつない晴天のもと、新しい垂水図書館が開館した。

これは、リノベーション・神戸第2弾における垂水活性化プランの一環として2019年度より取り組んできたものである。地下1階に原付駐車場と自転車駐輪場、1階に交通ロータリーを備えてはいるものの、2階から4階が図書館となっており、ほぼ単独館として堂々たる存在感を放っている。

レバンテ垂水2番館1階にあった旧館もまた、垂水駅前再開発事業のひとつとして1991年11月に設置されたものだが、占有面積686㎡と、市内各区の図書館と比較しても狭小と言わざるを得ず、駅前の至便な立地のため多くの利用がありながらも、新しく大きな図書館を望む声は多かった。

新垂水図書館の基本方針策定にあたっては、これら市民の声を反映させるべく、地域住民へのアンケート調査やパブリックコメントを実施した。その結果見えてきた、ゆったりと図書館で過ごしたいというニーズに応えるべく方針をまとめた。その核となるコンセプトは「人と本のみなと」である。垂水という海に近い地域にとって身近な「みなと」をキーワードに据え、本や情報が集まり、人が集まり、集

まった人同士が交流するイメージが表現されている。

図書館の面積としては約2,200㎡と旧館の3倍以上の広さとなった。2階に一般書、3階に児童書と蔵書を分散配置することで、年代による過ごし方の違いに応えられるように整えた。座席もおよそ300席と大幅に拡充し、読書のための席の他に、個人やグループでの学習スペースも設けることもできた。4階にはセミナー室(愛称「たるみなとルーム」)を設け、講座など各種行事を行い利用者が集える場所とした。

この図書館の大きな魅力となっているのが屋上の庭園である。晴れた日には深い青色を湛えた海が見え、西に目を転じれば明石海峡大橋が見える。街の真ん中にいながら開けた空間で読書に没頭するもよし、光と風を感じながら寛ぐもよし、ふと日常から離れた時間を過ごしていただけるのではないだろうか。

新館開館以降多くの方のご来館があり、11月6日には早くも10万人を達成。以後も好調に推移している。この新しい図書館が末永く地域の皆さんに利用され、街のシンボルとして愛され続けることを願う。

(文化スポーツ局長)

## 新垂水図書館の開館について

総務課課長 西山 智子  
総務課係長 川村 凜太郎  
総務課 乾 あさ子

### 1. 垂水図書館のあゆみ

本市における地域図書館の設置は「神戸市生活環境基準中期計画(1972)」にて各区設置の方針が明確化され、いわゆる“一区一館構想”のもと整備を行うこととなったが、垂水地域については、1980年に「市立図書館の設置に関する請願」が採択されたことをきっかけにその機運が高まり、折しも動き始めた垂水駅前の再開発事業において図書館も計画されるに至った。そして1991年11月25日、レバンテ垂水2番館、区総合庁舎や勤労市民センター等との複合ビル内1階に旧垂水図書館は誕生した。占有面積686㎡、当初冊数4万5千冊と、大きな図書館とは言えないが、開館当初から連日大勢の利用者が訪れ大変な賑わいを見せた。

### 2. 新館の計画と基本方針、コンセプトの決定

旧垂水図書館は駅に近いという立地面での利便性の高さから、その後も安定して多くの利用があったが、図書館の役割が時代とともに次第に変化し、地域における交流拠点や日常の課題解決支援、さらには身近な居心地のいい場所としての在り方が求められるようになった。垂水図書館の来館者アンケートにおいても館内の読書スペースや学習席、蔵書の拡充についての意見は常に寄せられていた。

2019年に本市が発表した「リノベーション・神戸」プロジェクトでは、垂水駅周辺もまちの顔となる場所として、まちの魅力向上を目指しての公共・公益施設の再配置が行われることとなった。この中で新垂水図書館も整備されることになり、駅前空間のランドマークとして、地域の活性化に役立つ図書館の検討が始まった。

新垂水図書館の基本的な設計としては、垂水駅周辺の車両混雑緩和のための交通ロータリーや原付駐車場を併設し、隣接する駅前広場との一体感を持たせることが求められた。また、図書館の機能については、定例的に行っている来館者アンケートに加えて利用者アンケートを実施。中央図書館で基本方針案を作成し、2020年11月6日から12月6日まで意見募集を行った。いただいた意見を反映し、2021年3月に基本方針を策定。新しい図書館はゆっくりと本に親しみ調べものができる滞在型図書館であること、親子での読書や学習など思い思いの過ごし方が

できることを念頭に、整備を進めることとなった。

新垂水図書館のコンセプトは「人と本のみなど～生涯の学びを支える情報拠点～」である。人やものが集まる港のように、本や情報そして人が集まって交流が生まれ、創造性を育む場所となること、読書や学習、課題解決に役立ち、日々の暮らしに「心のみなど」として寄り添うことを企図した。

### 3. 整備事業の経緯

新図書館の設計委託先事務所は公募型簡易プロポーザルにより選定した。外部の学識経験者を含む「新垂水図書館・ロータリー・原動機付自転車駐車場他整備工事設計業務事業者選定委員会」を設置。「参加表明書」による一次審査、のち「調査表」及びヒアリングによる二次審査を行った。参加表明書提出17者、ヒアリング対象事業者5者から選定された事業者は、フジワラボ・タト・トミト設計共同体（構成企業は株式会社フジワラテッペイアーキテクトラボ・株式会社タトアーキテクト・株式会社トミトアーキテクチャ）である。

選定事業者については、地域の思いを汲み取り積極的に取り入れる姿勢と、それを実現するための具体的な方法や体制があることが高く評価された。また、建築計画においても図書館としての基本的な空間づくりに加え、様々なライフステージに合わせたコミュニティの場や居場所づくりが多角的に検討されていること、地域に開かれた図書館として「裏側をつくらない」設計が評価を得た結果となった。

2021年、整備計画について夏頃に予定していた地元説明会は、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発令により中止となった。そのため、地元説明会に代えて説明チラシを配布し、同年11月に意見回答のための地元説明会を行った（合計6回・のべ70人参加）。

2022年7月、先行工事の地元説明会を経て先行工事を実施。同年10月から文化財調査を開始した（2023年6月完了）。

本体工事は2024年2月に着工、2025年8月に工事を完了した。

工事と並行し、バリアフリー対策として、兵庫県のチェック&アドバイス制度を利用し、設計に対する利用者目線からの助言を求めた。その結果、利用者動線の見直し、エレベーターやトイレへの機能追加等を行うこととなった。

#### 4. 内装整備について

新しい垂水図書館は、複合施設レバンテ垂水2番館内にあった旧館と比較するとフロアが複数（2～4階）となり、延床面積は3倍以上、座席数は4倍以上の規模となった。その内装整備を行うにあたり基本的な考え方として意識したのがゾーニングである。静かに読書をする、親子でおしゃべりしながら絵本を選ぶ、グループで学習するなど多様な利用を想定して諸室のレイアウトを設計者と共に検討し、2階に一般書コーナー、3階に児童書コーナーを配置することになった。

2階の一般書コーナーは中央に設置された「く」の字型書架の両側をメイン動線とし、そこから枝分かれするように各書架が配置されている。単体で見ると直線的でオーソドックスな形状の書架であるが、全体の配置に不規則性を持たせることで、目的の本を探しやすいことと偶然の本との出会いを誘発することを両立できる配置となっている。

3階の児童書コーナーの書架は2階のものとは対照的に曲線的なデザインを採用し、子どもの目線の高さから眺めると様々な方向に絵本が見える空間が広がっている。絵本の中には神戸垂水ロータリークラブおよび台湾の基隆東ロータリークラブからいただいた寄付金により購入した洋書絵本もある。同じフロアにある「おはなしひろば」は読み聞かせなど子ども向けの行事を開催するカーペット敷きのコーナーである。いかなごがデザインされた垂水ならではのカーテンや、テーマに応じて調色が可能な照明（例えば夏にこわいおはなし会をする時には赤色にできる）などの仕掛けが行事の雰囲気づくりを担う。学習室（40席）及びグループ学習室（1室）は壁で囲み、落ち着いて学習に取り組める空間となるよう配慮した。

4階の「たるみなとルーム（セミナー室）」に隣接する屋上ひろばからは行き交う船や明石海峡大橋が見え、晴れた日には遠く泉州地方の山々まで望むことができる。屋上ひろばをはじめとして、各階のテラスなど屋外空間が多いことはこの図書館の特徴で、景色を眺めながら読書を楽しんでもらえればと考えている。

内装のうち、木材部分にはできる限り地元産のものを用いている。建材としては、3階児童書コーナーの天井材や4階たるみなとルームの壁面などに兵庫県産の木材を使用している。また家具には神戸市産の木材を使用している。例えば3階の円形テーブルは、西神戸ゴルフ場跡地の整備に伴い伐採された木を用いているほか、2階の書架脇に設置しているス

ツールは、倒木の恐れがあった市内の街路樹を再利用したものである。こうした地元産材の活用の他、設計者が垂水の街でフィールドワークを実施して見出した色彩を取り入れるなど、神戸らしさ、垂水らしさを随所に盛り込んだ内装に仕上がっている。



神戸市産材のテーブルとツール

#### 5. 運営の検討について

屋外空間があり、またフロアごとに機能の異なる多様な部屋や座席が設けられていることから、運営については他都市での事例も参考にしつつ念入りな検討を行った。

利用者向けに開放しているテラスが2階に2カ所（バステラス、電車テラス）、3階に2カ所（大橋テラス、うみテラス）あるのに加えて、4階に「屋上ひろば」がある。これらの屋外空間の開放時間は夏季（4～9月）は19時まで（日祝は17時まで）、冬季（10～3月）は17時までとしている。また、2階の「バステラス」については飲食可能とした。

新たに導入した座席管理システムは市内5館（中央・東灘・北神・名谷・西）で既に運用していたが、垂水図書館においては、初の試みとして4階「たるみなとルーム」にテーブル単位で予約できる席を設けた。2人がけのテーブルを予約し、予約者本人とその同行者の合計2名まで利用できる仕組みとなっている。



たるみなとルームのテーブル

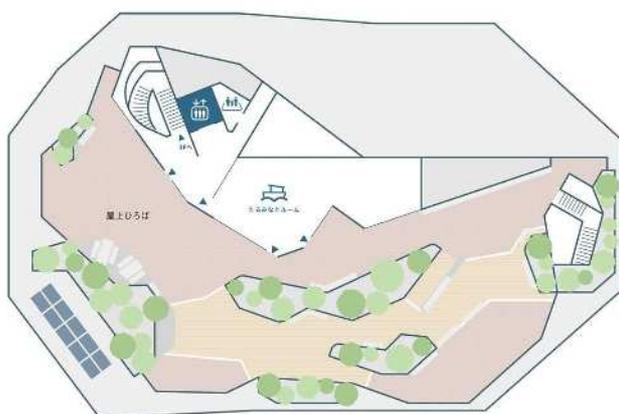
2階 一般書フロア



3階 児童書フロア



4階 屋上ひろば・たるみなとルーム





2階内観



3階内観



3階 おはなしひろば



夜間外観

図面提供：タトアーキテクト 写真撮影(4-5p)：小川重雄

## 裏側をつくらない

タトアーキテクト 島田 陽

私は神戸で長く続いた書店「海文堂」の息子として育ち、高校は垂水駅から通い、タトアーキテクトの最初の10年は垂水区塩屋に事務所を構えていた。そうした背景から「本の空間」にも「敷地」にも思い入れがあり、この図書館のプロポーザルに、泉大津市立図書館を設計中だったフジワラボ、トミトアーキテクトとの3社で取り組み、選定から5年を経てようやく竣工を迎えた。

敷地は四方からアプローチできるため、多正面で「裏側をつくらない」設計を意識した。一見複雑に見えるが、実は直交グリッドのシンプルな構造である。そこに非構造の「へ」の字の外壁を自由な角度で配置し、その隙間に窓やテラスを設けて直射光を調整している。粗い床端部と、天候や見る方向によって表情を変える外壁で、広場が積み重なったような外観をつくり出した。「裏側をつくらない」ことは内部も同様で、設備やトイレ、避難階段、事務室といった裏方とみなされがちな場所を設計上の要所として丁寧に扱った。2階は空調効率とメンテナンスを考慮して設備を露出し、中央部に高い天井高を確保している。東側の階段周りは、今は閉じられているが、

居場所としても設計したので、いずれは市民にも利用してもらいたい。

この図書館では「人と書棚の出会い方と居場所」を追求した。家具設計は、数々の図書館建築で知られる故・藤森泰司さんにお願いし、氏が最後に関わられた図書館プロジェクトとなった。「おはなしひろば」のカーテンは、同じく図書館で名高い安東陽子さんによるデザインである。見通しの良い中央から、段階的に高くなる書架の先、外光の影響を受けやすい外周部は人の居場所とした。図書館に行き慣れていない人にも足を運んでもらえるよう、公園のように過ごせる屋上庭園やバスを待つテラスなども設けている。

震災で、生まれ育った書店が落下した本の海となった光景は目に焼き付いている。交通空間と図書空間という上下で性格の異なる建築に対し、柱頭免震のRC造として災害に備えた。

街の記憶を育てる場として、簡単に古びない建築を目指した。本と人との出会いを媒介する場をどのように育てていけるか、図書館が常に新しい可能性を生む舞台であり続けるよう、今後も関わりたい。

## 6. 垂水図書館の施設概要

地下1階・地上4階

図書館部分面積 2218.31㎡

(図書館部分以外を含む延面積 4269.85㎡)

蔵書数 約12万冊

座席数 316席

<図書館(2階:一般書・3階:児童書・4階屋上)>

階	諸室	屋外
4階	たるみなとルーム (セミナー室)	屋上ひろば
3階	おはなしひろば 学習室(40席) グループ学習室	うみテラス(南東向き) 大橋テラス(西向き)
2階	新聞・雑誌コーナー 個人ブース(3席) 対面朗読室	バステラス(北向き) 電車テラス(南向き)

<1階>

- ・一般車用ロータリー
- ・図書館返却ポスト(閉館中のみ利用可能)

<地下>

- ・垂水駅前原付駐車場(200台)  
※8月1日より供用開始。定期利用のみ。
- ・垂水図書館自転車駐輪場(59台)  
※9月30日より供用開始。

[新しい機能]

<座席管理システム>

座席予約のシステムを導入し、専用端末を2階と3階に設置した。予約対象は、学習室、個人ブース席、カウンター席の計55席とグループ学習室(6席)および「たるみなとルーム(セミナー室)」(8テーブル)である。

ただし開館後1週間は自由席とし、10月7日より予約制とした。同日午前7時よりインターネットからの予約も開始した。

<予約図書セルフ受取棚>

市内4館目の予約図書セルフ受取棚を2階に設置。照会機にて利用者自身で予約図書の場所と冊数を確認し、指定の棚から取出して自動貸出機で貸出手続きを行う。

<その他>

公衆無線LANを導入し、垂水図書館全体(1階及び4階屋外を除く)でWi-Fiを利用できる。また、2階入口近くに自動返却機を設置した。オンライン

データベース用の端末も設置し、1月4日より運用を開始。「日経テレコン21」が閲覧可能である。その他、拡大読書器も備えている。

## 7. 開館式典および開館の様子

2025年9月30日、開館記念式典が図書館1階ピロティにて、9時より行われた。久元市長の挨拶に続き、神戸大使で棋士の谷川浩司十七世名人、神戸市会副議長、垂水区自治会連絡協議会会長からスピーチをいただいた。最後にテープカットを行い、20分間の式典は終了した。式典後は10時頃まで、式典出席者を対象とした内覧会を実施。図書館の2階から4階までを見学いただき、各階に配置された中央図書館職員がスポット案内を行い、随時質問等に対応した。

11時に開館し、初めての来館者を迎えた。混雑緩和のため、開館の1時間前から整理券の配布をピロティにて実施。翌10月1日および週末の4日と5日も1時間ごとに200枚の整理券を配布し入館制限を行った。整理券の配布は垂水図書館の指定管理者である株式会社図書館流通センターが担当した。

## 8. 利用状況

開館初日の入館者数は2,693人、貸出冊数は2,430冊、新規登録者は210人にのぼった。

開館当初は図書館カードを作成する人が増えることを想定し2階カフェスペースと西カウンターを利用券申込書受付用の臨時窓口と記載台とした。これにより、カウンターの混雑を解消することができた。

その後も連日多くの方に来館いただき、11月6日には来館者数10万人を達成、10万人目の方に垂水図書館から記念品を贈呈した。

<開館から2か月の利用統計>

10月

	総数	一日平均	前年比
入館者数	81,866人	3,032人	257%
貸出冊数	67,598冊	2,504冊	150%
新規登録者	3,703人	137人	1096%

11月

	総数	一日平均	前年比
入館者数	70,439人	2,709人	234%
貸出冊数	62,719冊	2,412冊	143%
新規登録者	1,811人	70人	596%

## 垂水図書館開館後の様子

垂水図書館長 高田 綾子

### 1. 新しくなった垂水図書館

これまで多くの方々に親しまれてきた垂水図書館が、新たに生まれ変わった。長年待ち望まれた新しい図書館であり、ようやく完成したことを幸せに感じるという声が数多く寄せられる。心地よい居場所ができたことへの喜びや、地域の拠点として期待と関心が高まっている中、日々たくさんの方が訪れ、学習室や屋上ひろばなど、お気に入りの場所で思い思いに過ごしている。

### 2. オープニングイベント

新館オープンを記念して様々なイベントを実施した。建築家・島田陽氏の著書を展示する特集展示とあわせて、トークイベント「垂水図書館が出来るまで」や島田氏と巡る図書館ツアーを行い、建築に込められた想いや工夫を利用者が建築家から直接聞く機会を設けた。建築上の配慮や細部へのこだわりが分かり、図書館への愛着がわいた、図書館を誇りに思うという感想が寄せられた。

また、垂水駅北側の付近一帯は「垂水日向遺跡」と呼ばれ、1987年以降、40回以上の発掘調査が行われている。オープニングに合わせて文化財課と連携し、図書館入口の左手に備え付けの展示ケースに、垂水日向遺跡からの出土品を展示した。

他にも、「たるるんの count ZERO バッグ」と題した企画では、開館に向けて購入したまだ誰も手にとっていない資料を集めて貸出した。中身が見えない形式での提供で、どんな本が入っているのだろうという期待感が利用者の好奇心を刺激した結果、多くの利用につながった。後日、実際にどんな本が入っていたかを紹介するブックリスト展示も行った。

(写真①)



(写真②)



館内の“映える”場所にはフォトスポットを設置し(写真①)、撮影した写真をSNSに投稿する参加型企画として「#(ハッシュタグ)は新垂水図書館」を実施した。また、「はじめのいっぽ～5年後へのタイムカプセル～」(写真②)では、未来の垂水図書館

へ宛てたメッセージを募り、5年後に公開する予定である。時がたっても地域の拠点であり続ける垂水図書館への思いを共有した。

### 3. 地域との連携

地域との協力も本館の大きな特徴で、地元で学んだことを生かして、こども目線で作ったメディアを発信している「こども編集部」と協力し、図書館の紹介動画や中高生向けパンフレットを作成・発信している。若い世代が自らの言葉で図書館の魅力を伝えることで、新しい利用の繋がりが生まれることを期待している。こうした取り組みは学びを通じて垂水での暮らしをより豊かなものにする一助となっている。

秋祭りでは、地元の名物である布団太鼓が図書館の周りを練り歩き、その光景をテラスから眺めながら歓談を楽しむ利用者の姿が見られた。日常の学びの場に地域のにぎわいが重なり合う光景は、垂水図書館が暮らしの一部として根付き始めていることを象徴している。

11月2日、図書館前広場では「垂水フィッシュマーケット」が開かれ、「大漁旗」を掲げる場所としてテラスを提供した(写真③)。訪れた人の目を楽しませる風景となり、漁業関係者にも大いに喜んでいただいた。

垂水消防署と連携した11月15日の「なりきり消防隊」では、はしご車を使った模擬救助を行ったり、消防隊員が3階テラスから1階へロープで降りたりし、イベント参加者からは大きな歓声が上がった(写真④)。

また、屋上ひろばに植えられた植物が季節とともに実りを迎え、訪れる人に小さな発見と喜びをもたらしている。

(写真③)



(写真④)



### 4. さいごに

垂水図書館は、これからも学びの種をまき続ける。人と本が会い、地域と知が交わるこの場所が、誰にとっても安心して立ち寄れる“みなと”であり続けるよう、あゆみを重ねていく。

### ー山陽電鉄舞子公園駅に返却ポストを設置ー

駅構内の改札外通路へ設置し、2025年11月19日13時より供用を開始した。始発から終電までの間、年末年始を除き、いつでも利用可能。(総務課・乾)

### ー予約図書自動受取機の取置期間短縮についてー

予約図書自動受取機(三宮・花時計前駅)の利用増加により発生している同機への入庫待ちを改善し、速やかに予約図書を提供するため、2026年1月より取置期間を5日から4日に変更した。

(総務課係長・川村)

### ー学校園における神戸市電子図書館の利用開始ー

2025年7月より、神戸市電子図書館の読み放題パックを活用して、市立小中学校のGIGA端末での利用を開始した(特別支援学校は9月から)。対象者は市立小中学校の児童・生徒、教員の約11万人。閲覧できるコンテンツは読み放題パック285点、青空文庫500点、図書館の独自登録資料(KOBEの本棚等)約90点で、いずれも同時接続数の制限がないコンテンツとなっているため、複数人で同時に読むことができる。また、神戸市内の私立小中学校へも広報を行い、申込のあった中学校3校に対してもIDを配布、12月より利用を開始した。

(利用サービス課・小嶋)

### ー図書館への児童書寄贈についてー

一般財団法人みなと銀行文化振興財団から三宮図書館43冊、北神図書館44冊(各10万円相当)の児童書を寄贈いただいた。2016年度より毎年2館へ寄贈され、三宮・北神の両館へは2回目となる。

(利用サービス課・高木)

### ー読書週間講演会 佐々木孝昌氏

#### 「サブカル的に見る、戦前神戸の息の痕」ー

2025年10月25日に中央図書館でサブカル郷土史家の佐々木孝昌氏による講演会を開催した。湊川神社境内の建造物や大倉山境界の石垣について、自身で撮影した写真と古写真を豊富に紹介。街歩きと資料から身近な歴史を解き明かす魅力を、楽しさいっぱいに語られた。参加者は64名。

(利用サービス課・天田)

### ー神戸「本」の文化振興プロジェクトー

全国的に書店や出版社が減少し読書離れが進む中、「神戸「本」の文化振興プロジェクト」は2024年よりスタートした。多くの市民に「本」に興味を持ってもらい、新たな読者層の開拓につなげていくため、書店や出版社等と連携した様々な取り組みを進めている。2025年8月には、プロジェクトの公式Instagram「BOOK CULTURE KOBE」を開設。神戸で活躍する方々の本にまつわる思い出や、本関連のイベ

ント情報などを発信している。また、読書週間に合わせた10月から11月にかけては、市内書店と連携した「本とのひととき」フェアを実施。書店の売場にて、プロジェクトのロゴマークが入ったオリジナル読書グッズと、書店員や司書のおすすめ本が販売された。市内の22店舗もの書店で一斉に同一のフェアを展開するという、他に例を見ない大規模な企画となった。フェア期間中、中央図書館においても読書グッズを展示しプロジェクトのPRを行った。さらに、神戸市内に新たな書店が開業されることを目指し、オンラインによる「みんなの本屋講座」を開講。全国の有名書店の店主らを講師に招き、書店開業のために必要な実践的な知識・スキルを学べる全17回の講座で、受講者数は約160名にのぼった。2026年3月には、第2回目となる「KOBE BOOK FAIR & MARKET」も六甲アイランドで開催予定。今後も、神戸における「本」の文化がさらに充実したものとなるよう、取り組みを進めていきたい。(総務課係長・宮本)

### ー新長田図書館からありがとうの30年ー

新長田図書館では、2025年11月18日から12月14日まで、開館30周年記念行事を開催した。今回の行事は、長年同館をご利用いただいている方にも、しばらく足が遠のいていた方にも、図書館に親しんでいただくことを目的とした。

期間中、長田区や震災復興に関する資料展示を行ったほか、新長田図書館と旧「長田図書館」へのメッセージを募集し、多くの方が参加した。また、「あなたからのイベントリクエスト」企画では、利用者が「やってみよう」と思うイベントに投票できる仕組みを設け、結果を館内掲示。得票数が多かった「自動貸出機でラッキーくじ」「ぬいぐるみ図書館たんけん隊」は、2026年度に実施予定。(総務課・石黒)

### ー手帳ー

会議	毎月1回	中央図書館職員安全衛生委員会
研修	9.17～9.19	新任図書館長研修
	10.16	館内研修「90分で備える、もしもの場面に負けない心と体」
	12.18	館内研修「視覚障害のある方への図書館サービスを知ろう、体験しよう」
工事	10.1～11.30	中央図書館自動火災報知設備更新
	11.10～11.25	中央図書館エントランス改修
その他	9.30	新垂水図書館開館
	9.30	垂水駅前返却ポスト供用終了
	11.19	舞子公園駅構内返却ポスト供用開始
	12.5	市民満足度調査
	12.18	中央図書館消防訓練



# 2025年度神戸市立図書館読書週間行事報告

## 展示

中央図書館	「江戸を刷る 一庶民がつくった出版文化」 「行ってみたい世界の国々」	10月17日～11月11日 10月17日～11月11日
東灘図書館	「旅する世界」	10月21日～11月16日
灘図書館	参加型展示「もう一度 行きたい場所」 「知ってる？知識の宝庫・図書館」 参加型展示「推し本セレクション」 読書の葉	10月21日～11月16日 10月21日～11月16日 10月21日～11月16日 10月21日～11月16日
三宮図書館	「三宮図書館スタッフの積読本」	10月28日～11月24日
兵庫図書館	「祝120年!! アートな街 新開地」 参加型展示「ここがええんや 新開地」	10月15日～11月9日 10月15日～11月9日
北図書館	本の福袋「こころとあたまの、深呼吸。」 「キングオブブック」	10月21日～11月16日 10月19日～11月30日
北神図書館	「図書館に来てみたけど何を読んだらいいのかわからない、 と相談されたのでとりあえずおすすめの本並べてみた件」	10月28日～11月9日
新長田図書館	「世界の国々を知ろう～新長田で延長万博～」	10月21日～11月16日
須磨図書館	参加型展示「Suma iru BOOK CAFE」	10月15日～11月9日
名谷図書館	「芋づる式読書のススメ」 参加型展示「芋づる式読書のススメ」	10月22日～11月10日 10月22日～11月10日
垂水図書館	「どこから見る？」	10月28日～11月16日
西図書館	「あなたの昭和時代 ～昭和100年」	10月21日～11月9日

## 講演会、講習会など

中央図書館	講演会「サブカル的に見る、戦前神戸の息の痕」	10月25日	64人
三宮図書館	神戸税関×三宮図書館「税関ってなあに？」	10月26日	4人
北神図書館	『かくも甘き果実』で小泉八雲に語りかける女性たち ～歴史と小説、英語と日本語のはざままで～「吉田恭子先生講演会」 紅茶好き司書によるお茶のおはなし	10月26日 11月1日	35人 28人
垂水図書館	終活セミナー「終活、していますか？」	10月29日	22人

## 手づくり会・工作教室など

東灘図書館	大人の工作教室「じゃばらスクラップブックを作ろう」	11月9日	8人
灘図書館	大人の工作教室「製本教室」	11月1日	8人
兵庫図書館	工作会「縫わない！ブックカバーづくり」	10月18日, 19日	6人
北神図書館	大人も工作ライブ！ラリー「クラフトバンドで作るカードフレーム！」	10月30日	6人
須磨図書館	絵本作家連携企画「IDAY絵画教室 ～かわいい動物を描こう～」 大人の工作教室「ブックカバーでいやしのひととき」	10月26日 10月29日	11人 4人
垂水図書館	大人の工作教室「想いを伝える布絵手紙」	11月9日	7人
西図書館	手づくり会「オリジナル スノードームをつくろう」	11月5日	6人

## 観劇型イベント

灘図書館	子供むけ映画会 大人むけ映画会	10月25日 10月26日, 11月9日(各2回)	8人 64人
須磨図書館	読書週間特別映画会 映画上映会「じんじん～其の二～」	11月12日, 13日 10月18日	22人 39人

## 雑誌リサイクルフェア

中央図書館	10月28日 譲渡者数 314人 譲渡冊数 1,373冊
東灘図書館	11月8日 譲渡者数 116人 譲渡冊数 859冊
北図書館	10月26日 譲渡者数 87人 譲渡冊数 578冊
北神図書館	11月9日 譲渡者数 91人 譲渡冊数 699冊
新長田図書館	11月2日 譲渡者数 87人 譲渡冊数 679冊
西図書館	10月26日 譲渡者数 164人 譲渡冊数 949冊



講演会「サブカル的に見る、戦前神戸の息の痕」(中央)

## 体験・参加型イベント

中央図書館	なぞときイベント 注文の多い図書館	10月24日～11月7日	38人
	なぞときイベント 図書館でなぞとき大冒険	10月24日～11月7日	70人
	えほんdeかるた	11月1日	11人
東灘図書館	プログラミング体験講座～ロボット「こくり」は動くかな?～	11月1日	7人
	一日図書館員	11月3日	3人
灘図書館	ふらっと体験 スマホ図書館	11月3日	12人
三宮図書館	ぬいぐるみのナイトキャンプ	11月2日	21人
北図書館	キングオブブック	10月19日～1月31日	25人
		※右記人数は11月末時点	
北神図書館	一日図書館員	11月2日	4人
新長田図書館	シン・ナガタ読書会	10月26日	3人
	図書館でボードゲーム	11月3日	6人
須磨図書館	クイズラリー「スマカフェ」	10月15日～11月9日	37人
	一日図書館員	11月2日	4人
名谷図書館	使ってみよう!セルフ予約棚&自動貸出機	10月22日～11月10日	211人
	みようだに 読書の会	10月26日	6人
	ぬいぐるみおとまり会	11月2日, 3日	13人
垂水図書館	ボードゲーム交流会「ボドゲフェス2025」	11月2日	60人
	図書館ツアー「スタッフとめぐる新垂水図書館」	11月16日(2回)	17人
西図書館	大人版図書館見学ツアー	10月29日	5人
<b>おはなし会・ストーリーテリング</b>			
中央図書館	おひぎのうえのおはなし会	10月18日	28人
	おはなし会	10月25日	12人
	かみしばいの会	11月1日	25人
	たんぼおはなし会	11月8日	16人
東灘図書館	みんなのおはなし会	10月25日(2回)	18人
	おはなし会 えほんの時間	10月26日, 11月2日, 9日, 16日	48人
	おはなし会 お話と絵本の時間	10月26日, 11月2日, 9日, 16日(各2回)	43人
	こどもと大人が楽しむおはなし会	11月2日, 9日	4人
	おひぎのうえのおはなし会	11月12日(2回)	23人
	ミニ工作付きおはなし会	11月15日(2回)	16人
灘図書館	ミニ工作つきハロウィンおはなし会	10月25日	12人
	おひぎのうえのおはなし会	10月30日	6人
	おはなし会	11月2日, 11月16日(2回)	37人
	英語deおはなし会	11月8日	10人
三宮図書館	おはなし会	10月25日, 11月1日	21人
	おひぎのうえのおはなし会	11月8日	14人
	ほっと一息。大人のおはなし会	11月9日	6人
兵庫図書館	おはなし会	10月18日, 10月25日(2回), 11月8日	17人
	おひぎのうえのおはなし会	10月24日	24人
北図書館	おはなし会	10月25日	2人
	おひぎのうえのおはなし会	11月1日	4人
	秋の古民家で朗読ライブ	11月2日	21人
	大人のためのおはなし会	11月3日	35人
	おはなしとえほんの会	11月8日	9人
	小さな絵本のじかん	11月15日	3人
北神図書館	大人のストーリーテリング	11月11日	49人
	赤ちゃんふれあいおはなし会	10月19日	33人
	おはなし会(3グループ合同)	11月8日	19人
新長田図書館	大人の楽しい朗読	10月25日	18人
	かぞくでよんで つくって おはなし会	10月26日	10人
	秋のおはなし会	10月30日	16人
須磨図書館	ちいさなおはなし会	10月18日	6人
	えほんおはなし会	10月25日	5人
	おひぎのうえのおはなし会	11月7日	5人
	おはなし会	11月8日(2回)	14人

名谷図書館	おとなの朗読会	10月25日	20人
	おひぎのうえのおはなし会	11月6日	10人
	よつばおはなし会	11月8日	9人
	ストーリーテリングの世界～ことばで楽しむおはなし会～	11月1日(2回)	43人
垂水図書館	おはなし会	10月30日, 11月1日, 5日	76人
	おひぎのうえのおはなし会	11月1日	18人
	ふれあいおはなし会	11月15日	17人
西図書館	大人のためのおはなし会「おとなだって絵本 土曜特別版」	10月25日	14人
	おはなし会	10月26日, 11月2日, 9日	44人
	おはなしでてこい	11月1日	95人